

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/05/18号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



反発、イラン和平への期待後退

NY原油先物相場は、1バレル=100ドル台中盤まで値上がりする展開となった。米国とイランの和平合意に対する期待感から5月6日には88.66ドルまで下落していた。しかし、和平合意に対する期待感が後退すると、改めて供給不安を織り込む動きが優勢になった。最近の取引レンジ内での値動きにとどまるが、押し目買い優勢の展開となった。

米国の和平合意に向けた「覚書」に対するイランの回答について、トランプ米大統領は「全く受け入れられない」と述べた。詳細については明らかになっていないが、ホルムズ海峡の支配権や核問題への対応などについて、米国の要求を満たさなかった模様だ。マーケットでは、イランの回答を米国が受け入れれば、2回目の和平協議が開催され、ホルムズ海峡の開放が実現するとの期待感が強くなっていた。しかし、米国がこれを拒否したことで供給不安が再燃したことが、原油高に直結した。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (5月8日時点) は、原油が前週431万バレル減、ガソリンが408万バレル減、石油精製品が19万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

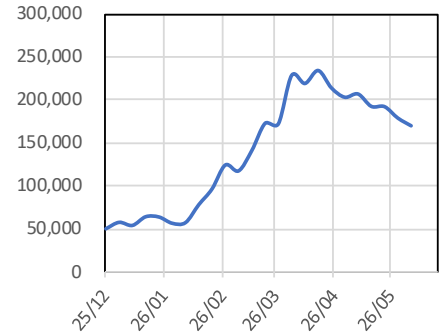
イラン情勢次第の展開が続く、和平合意が見通せなければ堅調

イラン情勢に強く依存する展開が続く。前週は米国とイランの和平合意に対する期待が後退し、供給障害の長期化に対する警戒感を織り込む動きが原油相場を押し上げた。このため、和平合意に向けた進展が全くみられず、米国とイランの対立がクローズアップされると、原油相場は110ドル水準に向けて一段高を打診する可能性がある。ホルムズ海峡の流通が事実上停止してからすでに2カ月半が経過したため、各国の石油在庫は大きく取り崩されているが、さらに在庫減少が続くと、需給ひっ迫リスクのプレミアム上乗せが求められる。特にホルムズ海峡周辺でタンカーに対する攻撃などが報告されると、堅調地合が踏襲されやすくなる。

ただし、あくまでもホルムズ海峡の流通環境に強く依存しているため、米国とイランの和平合意に向けた取り組みなどが報告されると、上げ一服となりやすい。前週も米国とイランの間では接触が行われていた模様で、和交渉が本格化すれば、上げ一服感が強まりやすい。また、ホルムズ海峡でタンカーの通航報告が増えていることにも注目したい。イランのアラグチ外相は、敵対国以外のすべての船舶が、イラン海軍との調整の上でホルムズ海峡を通航できると発言している。和平合意が実現しなくても、それに先行してホルムズ海峡の原油・石油製品の流通環境が改善するとの見方が強まった際にも、調整売りが広がりやすく、90ドル台での取引に回帰する可能性もある。

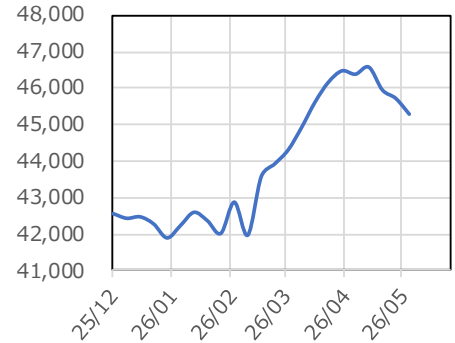
基調としては、ホルムズ海峡の流通再開が進めば、原油相場の上振れリスクは後退する。ただし、流通再開までの時間が長期化するほどに、在庫ひっ迫感は強まることになり、国際エネルギー機関（IEA）も夏の需要期前にさらなる価格変動が生じるリスクを警告している。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



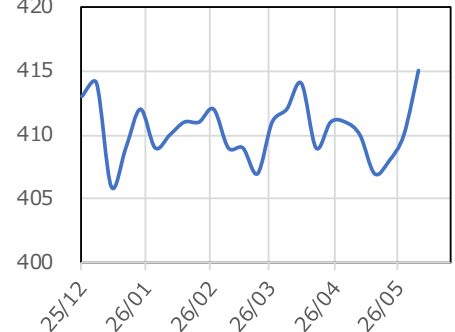
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

